

レジメンオーダ登録確認表

登録NO. 10h

登録年月日
2016/10/3

	診療科	氏名	印	がん種	レジメン名称（略号）
確認	外科	部長：古池 真也		神経内分泌癌	CDDP + CPT-11（適応外）
作成／確認	薬剤部	藤井友和／西川隆一・辻博幸	/	1クール 28日間	標準施行回数：有効時継続

薬剤名	略号	投与量	投与方法	投与時間	投与日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
イリノテカン	CPT-11	60 mg/m ²	点滴静注	90分		↓							↓							↓														↓		
シスプラチン	CDDP	60 mg/m ²	点滴静注	2時間		↓																												↓		

Rp	補液（名称・用量）	薬剤名・用量	投与速度等
<1日目>			
1	ソルデム3A 1500mL		6時間（メイン）
2	ゲラニセトロン 3mg/100mL	アロカリス 1V + テキサート 3.3mg 3A	30分（側管）
3	生理食塩液 50mL	フラッシュ + プレメディ時間調整用	30分（側管）
4	生理食塩液 250mL	イリノテカン 60mg/m ²	90分（側管）
5	生理食塩液 250mL	シスプラチン 60mg/m ²	2時間（側管）
<8日目、15日目>			
6	ゲラニセトロン 3mg/100mL	テキサート 3.3mg 2A	30分
7	生理食塩液 250mL	イリノテカン 60mg/m ²	90分
8	生理食塩液 50mL	フラッシュ用	適宜
10			

特記事項	
休薬・減量・中止基準	減量・休薬：Grade2以上の血液・非血液毒性 中止：Grade3以上の過敏症
主な副作用とその対策	・悪心嘔吐：NK₁拮抗薬+5HT₃拮抗薬+ステロイドの前投薬 ・腎障害：輸液（2,000mL～3,000mL） ・急性下痢：抗コリン薬 ・遅発性下痢：ロペラミド+半夏瀉心湯
注意事項	・遅発性の下痢に対し乳酸菌製剤の投与は避ける ・イリノテカンはUGT1A1遺伝子多型の検査結果をもとに投与量を設定すること（*6もしくは*28のホモ接合体および複合ヘテロ接合体の場合は50%に減量し、ヘテロ接合体の場合は70%に減量することを考慮）
主要文献	・Kulke MH, et al. Dig Dis Sci 2006; 51(6): 1033-38.

レジメンオーダ登録確認表

登録NO. 11h

登録年月日
2016/10/28

	診療科	氏名	印	がん種	レジメン名称（略号）
確認	外科	部長：古池 真也		神経内分泌癌	CDDP + VP-16（適応外）
作成／確認	薬剤部	藤井友和／西川隆一・辻博幸 ・澤柳直樹	/	1クール 2 1 日間	標準施行回数：有効時継続

薬剤名	略号	投与量	投与方法	投与時間	投与日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
エトポシド	VP-16	100 mg/m ²	点滴静注	2時間		↓	↓	↓																												
シスプラチン	CDDP	80 mg/m ²	点滴静注	2時間		↓																														

Rp	補液（名称・用量）	薬剤名・用量	投与速度等
<1日目>			
1	ソルデム 3A 1500mL		6時間（メイン）
2	グラニセトン 3mg/100mL	70カリシ 1V + デキサート 3.3mg 3A	30分（側管）
3	生理食塩液 50mL	フラッシュ + プレメディ時間調整用	30分（側管）
4	生理食塩液 500mL	エトポシド 100mg/m ²	2時間（側管）
5	生理食塩液 250mL	シスプラチン 80mg/m ²	2時間（側管）
<2日目、3日目>			
6	グラニセトン 3mg/100mL	デキサート 3.3mg 2A	30分（側管）
7	生理食塩液 500mL	エトポシド 100mg/m ²	2時間（側管）
8	生理食塩液 50mL	フラッシュ用	適宜
10			

特記事項	
休薬・減量・中止基準	減量・休薬：Grade2以上の血液・非血液毒性 中止：Grade3以上の過敏症
主な副作用とその対策	・悪心嘔吐：NK ₁ 拮抗薬+5HT ₃ 拮抗薬+ステロイドの前投薬 ・腎障害：輸液（2,000mL～3,000mL）
注意事項	・エトポシドは溶解時の濃度により析出することがあるので、0.4mg/mL以下の濃度になるよう調製すること ・エトポシドの析出までの時間は、0.4mg/mLでは24時間以上だが、0.6mg/mLとなると最短6時間という報告がある
主要文献	・Fjallskog ML, et al. Cancer. 2001; 92(5): 1101-1107. British Journal of Cancer (1999) 81(8), 1351-1355